

学校だより



神津の学びや

令和7年3月15日 創立150周年



伊丹市立神津小学校

校長 米田 博一

令和6年9月2日号

全国学力・学習状況調査結果について

6年生を対象に、4月18日（木）に実施された「全国学力・学習状況調査」について、本校の結果等をお知らせいたします。なお、この調査で測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一つの側面です。

1 児童に対する調査

(1) 学力に関する調査 [国語・算数] それぞれ45分

(2) 学習状況に関する調査（児童質問紙）

小学校第6学年の児童対象の、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

2. 本校の調査結果について

(1) 学力に関する調査結果

算数は、全国平均を少しだけ上回る正答率、国語は、全国平均を少しだけ下回る正答率で、ほぼ全国平均並の結果でした。

算数においては、基礎基本の定着が見られます。一方で、「図形・空間認識の弱さ」が課題となっています。国語においては、「話すこと・聞くこと」「情報の扱い方に関する事項」に課題が見られました。「語彙力の乏しさ」も課題です。また、算数・国語とも共通して、「思考力の弱さ」が課題となっています。問題をしているときに、あまり深く考えずに選択肢を選んでしまっている姿もありました。

大きく評価したいのは、算数・国語ともに、無回答率（何も書かないこと）が全国平均を大きく下回っているということです。子どもたちがねばり強く調査問題に取り組んだことの現れです。子どもたち自身も、ほとんどの子が「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答しています。

実際、子どもたちは、ねばり強く考え、最後まであきらめず取り組んでいました。正解か不正解かということ以上に、この姿勢こそが、これから子どもたちが伸びていくために大切な力となります。

現在、神津小の子どもたちに培おうとしているねばり強さやチャレンジする気持ちなどを育てていくことが、学力を高め、「たくましく しなやかに」生きていく力を身につけていく鍵になると考えています。

(2) 学習状況に関する調査結果

○「自分には、よいところがある」という質問では、約86%が肯定的な回答をしており全国平均を上回っています。しかし、この項目は全員が肯定的な回答になることをめざして取り組んでいく必要があります。

○「人の役に立つ人間になりたいと思う」という質問では、全員が肯定的な回答をしていました。自分とともに、他者も大切に作る心が育っていることが感じられ、うれしく思いました。

○「毎日の朝食」「睡眠」「スマホや動画の視聴時間」等の生活習慣については課題がありました。小学生の時期の食事や睡眠は、身体や脳の成長に大きく影響します。スマホやゲームの利用についても保護者がお子さんとしっかり話し合っ使用方を見守ってやるのが大切です。

現在、調査結果を分析し、今後の具体的な取り組み等について検討しています。後日、改めて学校だよりで報告します。